

# AXIS A4120-E Reader ( キーパッド搭載 )

## インストール



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

AXIS A4120-E Reader with Keypadのインストールビデオ

## 配線

表に従って、リーダーからドアコントローラーに配線します。

AXIS A4020-E AXIS A4120-E	AXIS A1001	その他のAxisドアコントローラー
B	A	B
A	B	A
+	12 V	12 V
-	-	-

## デバイスを構成する


このデバイスは、すぐに使用できる標準のOSDPリーダーとして機能します。AXIS Camera Station Secure Entryで特定の機能にアクセスし、設定を変更できます。以下に、AXIS Camera Station Secure Entryを使用してデバイスを設定する例を示します。

### 暗号化通信

#### OSDPセキュアチャンネル

AXIS Camera Station Secure Entryは、OSDP (Open Supervised Device Protocol) セキュアチャンネルに対応し、コントローラーとAxisリーダー間の回線暗号化をアクティブにします。

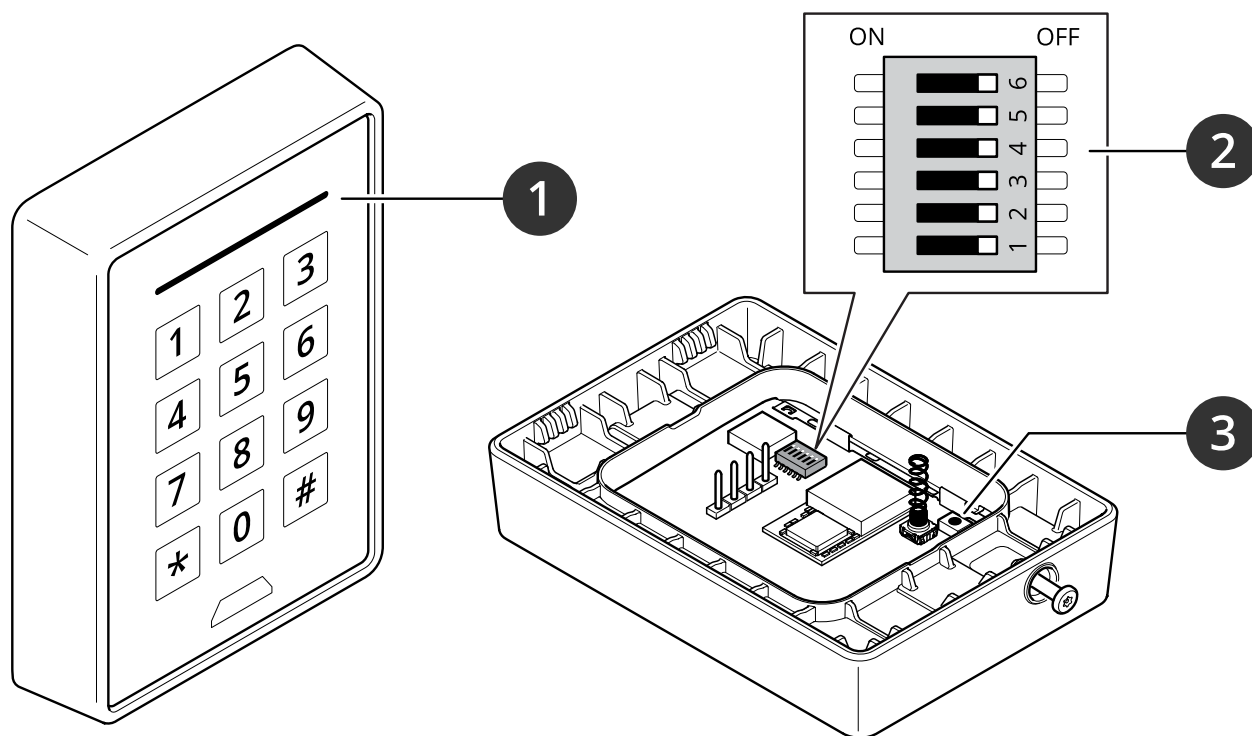
システム全体でOSDPセキュアチャンネルをオンにするには:

1. [Configuration > Access control > Encrypted communication (設定 > アクセスコントロール > 暗号化通信)] に移動します。
2. メインの暗号化キーを入力し、[OK] をクリックします。
3. [OSDP Secure Channel (OSDPセキュアチャンネル)] をオンにします。このオプションは、メインの暗号化キーを入力した後にのみ使用できます。
4. デフォルトでは、メインの暗号化キーによってOSDPセキュアチャンネルキーが生成されます。OSDPセキュアチャンネルキーを手動で設定するには:
  - 4.1. [OSDP Secure Channel (OSDPセキュアチャンネル)]で、 をクリックします。
  - 4.2. [Use main encryption key to generate OSDP Secure Channel key (メイン暗号化キーを使用してOSDPセキュアチャンネルキーを生成する)] をクリアします。
  - 4.3. OSDPセキュアチャンネルキーを入力し、[OK] をクリックします。

特定のリーダーでOSDPセキュアチャンネルをオンまたはオフにする方法については、ドアとゾーンを参照してください。

## 仕様

### 製品概要



- 1 リーダーインジケーターストライプ
- 2 DIPスイッチ
- 3 コントロールボタン

### リーダーインジケーターストライプ

挙動	状態
赤で点滅	コントローラーの接続を待っています

### DIPスイッチ

DIPスイッチ	デフォルト設定	機能
1	オフ	OSDP アドレス
2	オフ	Off + Off = 0* Off + On = 1 On + Off = 2 On + On = 3
3	オフ	RS485 終端処理、Off = アクティブ
4	オフ	視覚障害モード**
5	オフ	キーパッドバックライト、On = 常にオン、Off = OSDPによる制御

6	オフ	セキュアモード***
<p>*スイッチ 1 と 2 がともにオフの場合、コマンドosdp_COMSETでアドレスを変更することができます。</p> <p>** 視覚障害モードでは、キーの押下が登録される前に遅延が追加されます。AXIS TA4401点字ラベルがデバイスにインストールされている場合にのみ、視覚障害モードをオンにします。</p> <p>*** セキュアモードをオンにすると、リーダーは暗号化されていない通信を許可しません。暗号化通信, on page 3を参照してください。</p>		

## ボタン

### コントロールボタン

コントロールボタンは、以下の用途で使用します。

- 製品を工場出荷時の設定にリセットする。工場出荷時の設定にリセットする, on page 6を参照してください。

### ボーレート

デフォルトのボーレートは9600です。変更するには、コマンドosdp\_COMSETを使います。

## トラブルシューティング

### 工場出荷時の設定にリセットする

工場出荷時の設定へのリセットを行うと、すべての設定が工場出荷時の値にリセットされます。



このビデオを見るには、このドキュメントのWebバージョンにアクセスしてください。

1. バックプレートからデバイスを取り外します。これにより、デバイスが電源から切断されます。
2. バックプレートからコネクタを取り外します。
3. コントロールボタンを押しながら、鋭利でない器具を使用してターミナルブロックをデバイスのピンに接続することで、デバイスが電源に再接続されます。製品概要, on page 4を参照してください。電源に再接続されると、短いビープ音が鳴ります。これは、コントロールボタンが押されていることを示します。
4. そのままコントロールボタンを数秒間押し続けます。
5. コントロールボタンを放します。再びビープ音が鳴ります。これは、デバイスが工場出荷時の設定にリセットされたことを示します。
6. ターミナルブロックをバックプレートの所定位置に置きます。
7. デバイスをバックプレートに取り付け、ユニットのふたをゆっくりと閉じます。



T10177621\_ja

2026-03 (M5.2)

© 2021 – 2025 Axis Communications AB